児童に見られるつまずき

　大事なことを落とさずに聞き、工夫されたメモを取ることができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　友達のメモや、モデルメモから工夫を見つけて話し合う活動を通して、キーワードを書いたり内容のまとまりごとに整理したりすることの良さに気付くようにする

指導事例集ｐ．２３

１　学年・単元名　　第４学年　大事なことを落とさない聞き取りメモ名人になろう

『聞き取りメモの工夫』（話すこと・聞くこと）

参考：主課題

２　単元目標

・話を聞き、要点をメモに取る。

・目的や必要に応じて情報を聞き分け、自分にとって大事なことを聞き取る。

３　本時の目標

キーワードを入れて書く・話のまとまりで書くというメモの工夫を考え、メモの工夫点をいかして、よりよいメモを取ることができる。

参考：板書

４　本時の展開

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点  **太字：つまずきに対する手立て** |
| １　単元目標と本時の目標・流れを確認する。    めあて　　自分のメモをよりよくするために、メモの取り方を工夫しよう    ２  思考・判断を促す課題：キーワードを入れたメモや、話のまとまりをとらえたメモを考え、工夫したメモを取ろう。  （１）放送委員会のモデル説明を聞き、メモを取る。  ワークシート使用  （２）話のキーワードについて確認する。  　・メモした言葉を発表する。  　・その中でも大事なキーワードを考える  （３）グループで話し合う。  ・工夫されたメモになるよう話し合い、おすすめメモをホワイトボードに書いてまとめる。  ・グループのメモを発表する。  （４）モデルメモを見ながら、クラス全員で話し合う。    （５）メモの工夫についてまとめる。   1. キーワードを入れて書く 2. 話のまとまりで書く 3. 番号をつける 4. ひらがなで書く 5. 記号　仕や「・」　を使う 6. かじょう書き 7. 中身を線でつなぐ 8. 後で聞き直せるように印や空白にする   ３　給食委員会のモデル説明を聞き、工夫点をいかしてメモを取る。  ４　本時の振り返りをする。  ・「メモの工夫について、理由とともに振り返る」 | ・本単元で学習するめあて達成に向けて、本時の学習をおこなうことを意識させる。  ・メモ用紙を配布し、縦書き横書き、マス目のある物と無い物の使い方など、紙の使い方は自由であることをおさえる。  ・班のみんなに説明するために、五年生から説明を聞いてメモを取るという目的を意識させる。  ・聞き終わってからもメモの追加ができるように配慮する。  ・モデル説明を提示し、内容の補足をする。  ・キーワードを確認することで、話の内容の把握をする。  ・「キーワードを入れて書く」を工夫としておさえる。  ・「早く書くための工夫」と「後で見やすい工夫」について話し合えるようにする。  **・なぜその工夫点がいいと考えたのか、理由を話したり、質問したりしながら、話し合いを進めさせる。**  ・工夫点の良さをはっきりさせながら発表させる。  **・モデルメモは拡大して掲示することで、グループ活動で見つからなかった工夫に気付かせる。**  ・今回は特に、①キーワードを入れて書く②話のまとまりで書くことをおさえる。  ・児童が見つけることができなかったことについては教師から提示してまとめる。  ・自分の取り組むメモの工夫についてワークシートに書かせる。  ・１回目と比べて、工夫をしながら、メモが取れるようにする中で、①②の工夫ともう１つ工夫を使ってメモを取るか、①②の工夫を使ってメモを取るか、①だけを使ってメモを取るか、児童に選択して取り組ませる。  ・自分が使ってみた工夫や、今後さらに使ってみたい工夫について理由とともに振り返られるようにする。  ・数名の児童に、メモを提示しながら発表させる。 |